

アスリート支援の取り組みについて

当社は社会への貢献、事業との相乗効果を狙って、2018年よりアスリート支援を手掛けています。現在は、元プロ野球選手でクリケットの世界最高峰インディアン・プレミアリーグを目指す木村昇吾選手とスポンサー契約を結ぶほか、陸上棒高跳びで東京オリンピック出場を目指す来間弘樹選手を社員として採用しています。

木村昇吾選手は、当社の海外での投資事業における重要拠点であるスリランカにて、同国における当社の事業パートナーであるSoftlogic Groupの支援のもと、現地クリケットチームに合流し、トレーニングを積んでいます。木村選手の経験と人柄は、スポーツ×ビジネスにおいて様々な展開が期待できるほか、スリランカにおける国民的スポーツであるクリケットでの日本人選手の嚆矢となる木村選手を応援することで、両国の関係強化にも貢献したいと考えています。

来間弘樹選手は2018年4月の入社以降、当社の社員として、真摯に棒高跳びの競技に取り組んでまいりました。棒高跳びは、当社の社名・ロゴに込められている「困難に立ち向かう」「障害を越えていく」という精神に合致する競技であり、来間選手の活躍に刺激を受け、社員一同、より高みへ挑戦していく気持ちを新たにしております。

来間選手は、2020年10月に行われた第104回日本陸上競技選手権大会・男子棒高跳び決勝において、自己ベストを更新して優勝するなど（右写真）、来年の東京オリンピック出場を狙える位置まで来ており、今後の活躍にご期待ください。



第104回日本陸上競技選手権大会で優勝した来間弘樹選手
Photo by AFL0 SPORT

STRIDERS REPORT

2020. 4. 1~2020. 9. 30



株式会社ストライダーズ
第57期 中間報告書
証券コード 9816

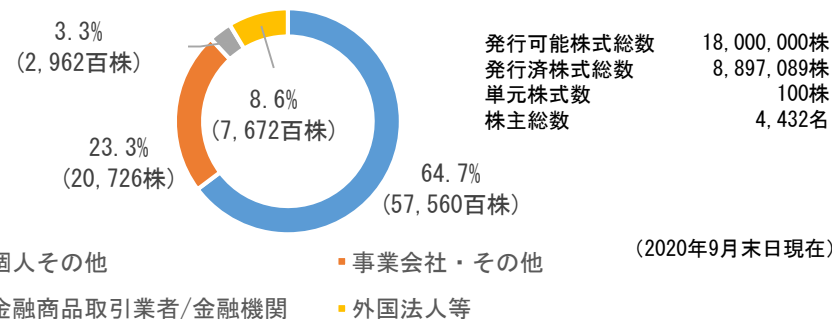


株式関連情報・株主優待制度

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	毎年3月末日
剰余金の配当の基準日	毎年9月末日、毎年3月末日
株式の売買単位	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 フリーダイヤル：0120-782-031 (受付時間 土・日・祝祭日を除く9時~17時)

■所有者別単元株式分布状況・株式の状況

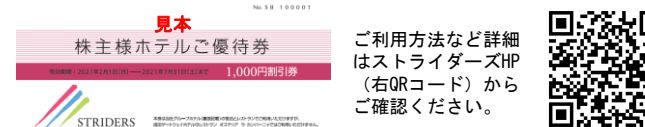


■株主優待制度

対象株主 毎年3月末日、9月末日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式2単元（200株）以上を保有する株主様（年2回）

優待内容 保有株数に応じた、グループホテル優待券の贈呈

保有株数	グループホテル 利用券
200株(2単元)以上 500株(5単元)未満	1,000円券
500株(5単元)以上 1,000株(10単元)未満	3,000円券
1,000株(10単元)以上	5,000円券



TOP MESSAGE



代表取締役社長
早川 良太郎

次の10年を見据え、企業価値を最大化し、事業の多角化と経営の効率化に尽力

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈りいたします。

さて、当期の国内経済は新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が急激に落ち込み、回復の兆しは見られませんが、依然として厳しい状況が続いております。また、海外についても、アジアでは中国など一部地域では新型コロナウイルス感染症からの急激な回復が見られますが、全体としては経済減速が長期化しています。このような経済状況下、当社グループは、引き続き、海外における新規投資機会を模索する一方、既存事業における経営の効率化、コロナ禍における事業戦略の検討等に取り組んでまいりました。

その結果、上半期については、売上は増収となったものの利益では前年同期を下回る結果となりました。下半期についても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、通期では減収減益（前年同期比）となる見込みでございます。来期以降の業績回復に向けて、既存事業の見直し、新たな展開を検討するとともに、次の10年を見据え、企業価値を最大化し、事業の多角化と経営の効率化に尽力したいと考えております。

なお、株主優待については、別資料でもご案内のとおり、今回より、株式会社関門海（とらふぐ料理専門店）の店舗で利用できるお食事券は廃止となり、グループホテル優待券のみの贈呈となることをご理解いただけますと幸いです。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

2020年12月吉日

会社情報

■会社概要

社名	株式会社 ストライダーズ（英語名：Striders Corporation）
本社	〒105-0004 東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル8階
設立	昭和40年2月
資本金	1,583百万円
事業内容	不動産事業、ホテル事業、海外事業、その他
上場市場	JASDAQ（コード番号：9816）
連結売上高	13,276百万円（2020年3月期）
連結従業員数	198名（2020年3月末日現在）

■企業理念

挑戦する個人・企業を応援し、すべてのステークホルダーと感動体験を共有し、より良い世界を創造する

■コーポレートスローガン

Stride With Challengers “挑戦者達と共に闊歩する”

■役員一覧

代表取締役社長	早川 良太郎
取締役会長	早川 良一
常務取締役	宮村 幸一
取締役	梅原 純
社外取締役	鈴木 泰
常勤監査役	吉澤 生雄
監査役	亀井 孝衛
監査役	本田 琢磨



■社名・企業ロゴについて

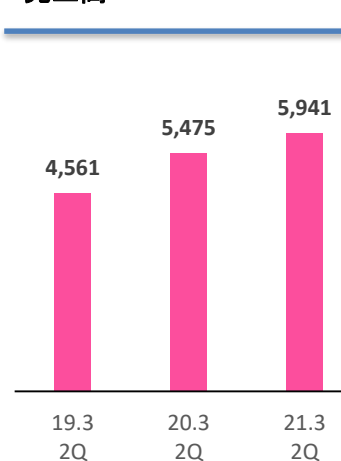
当社の社名「ストライダーズ」には、時代に先駆け、闊歩する（「ストライド」）集団という意味が込められています。

また、企業ロゴの右上がりに伸びていく線は、常に「困難に立ち向かう」「障害を越えていく」という精神を表現しています。

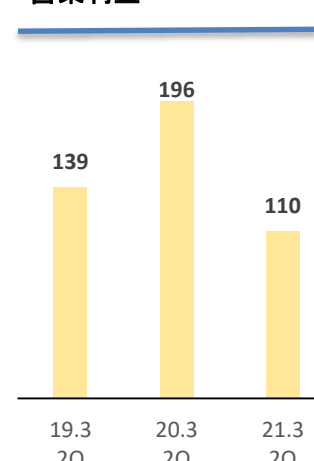
決算ハイライト（単位：百万円）

2021年3月期第2四半期決算においては、売上高が前期比8.5%増の5,941百万円、営業利益は前期比▲43.8%の110百万円、四半期純利益は82百万円を計上しました。

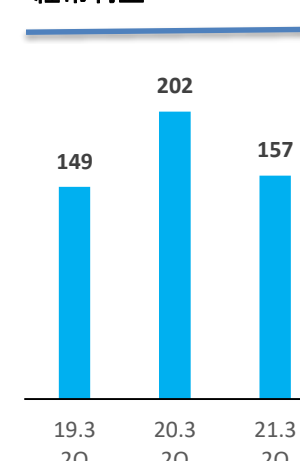
売上高



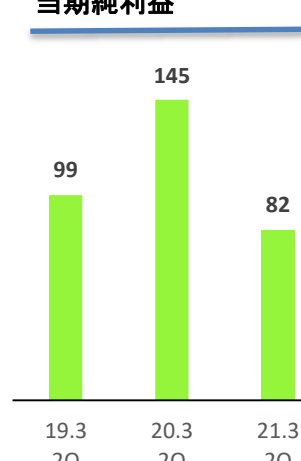
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



貸借対照表・キャッシュフロー計算書について

✓ 第一四半期にホテルセグメントにて、政府のコロナ禍対応緊急融資制度を活用し、長期運転資金として、510百万円の借入（無担保・無保証）を実施

(百万円)	2020.3	2021.3 2Q	増減額
資産合計	5,000	5,318	+318
流動資産	2,927	3,299	+372
固定資産	2,073	2,018	-55
有形固定資産	1,383	1,362	-21
無形固定資産	183	170	-13
投資その他の資産	506	485	-21
負債合計	2,866	3,118	252
有利子負債	1,366	1,779	+413
純資産合計	2,133	2,199	+66

(百万円)	2020.3 2Q累計	2021.3 2Q累計
営業活動による キャッシュ・フロー	29	7
投資活動による キャッシュ・フロー	58	△12
財務活動による キャッシュ・フロー	18	398
現金及び現金同等 物の増減額	104	391
現金及び現金同等 物の期首残高	1,814	1,990
現金及び現金同等 物の四半期末残高	1,918	2,381

通期業績、配当予想について

✓ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減収減益を予想

(百万円)	2021.3 通期予想	前期比
売上高	11,000	▲17.1%
営業利益	105	▲59.0%
経常利益	150	▲40.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	110	▲27.2%

✓ 配当予想は前期据え置き

(円)	2021.3 中間	2021.3 期末	合計
1株あたり 年間配当金	0	3.00	3.00

ストライダーズグループについて

当社グループは、投資・不動産事業を軸に日本、シンガポール、スリランカ、インドネシアなどの島国を中心に事業展開してまいりました。現在、事業セグメントは、不動産・ホテル・海外の主要3セグメントとその他の4つに分かれています。



主な事業内容：事業投資、グループ経営管理

＜各セグメントの主な事業内容＞

不動産事業	ホテル事業	海外事業	その他
レジデンス事業 ビルマネジメント 事業 賃貸仲介事業 売買事業	成田ゲートウェイ ホテルの 所有・運営 倉敷ロイヤル アートホテルの 所有・運営	海外投資事業 広告代理店事業	車載端末システム の開発・販売 企業再生再編 中華麺等の 製造・販売

＜主な国内グループ会社＞

＜主な海外グループ会社＞

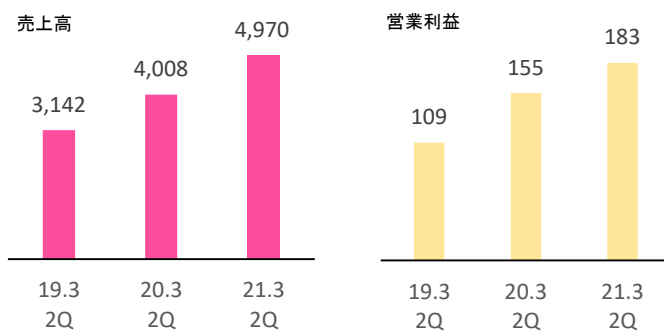
セグメント業績について (単位：百万円)

※前連結会計年度末より、セグメント間取引の調整方法を見直し、事業セグメントの利益の算定方法を変更しています。なお、19.3/2Qの数値のみ、変更前の算定方法で作成しています。

■不動産

事業内容：レジデンス事業（リーシング、賃貸管理、マンション建物の受託管理）、不動産売買事業

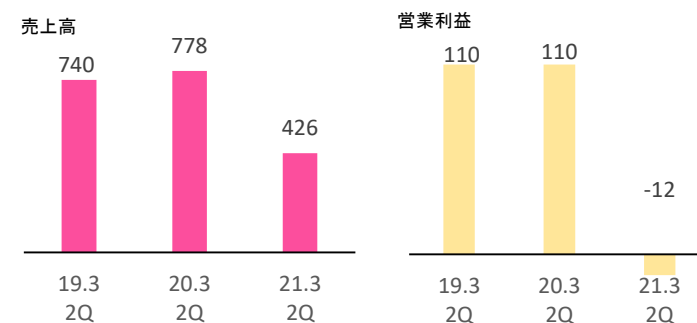
- ✓ レジデンス事業における管理戸数が引き続き高水準を維持、コロナ禍において賃貸借契約の更新率は増加
- ✓ 不動産売買事業における取引が増加、下期に見込んでいた案件が一部前倒しで実行



■ホテル

事業内容：ホテルの保有・運営

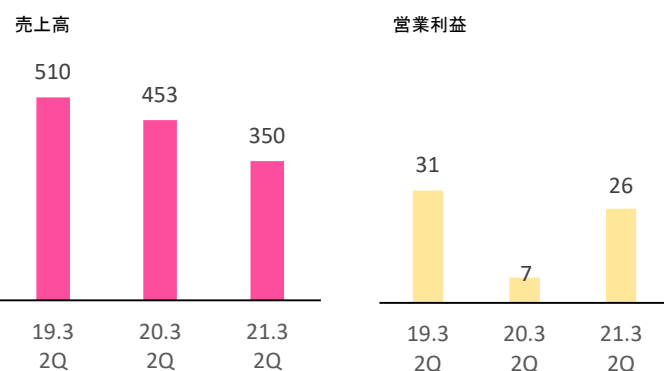
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、売上・利益とも大きく減少
- ✓ 成田ゲートウェイホテルは新型コロナウイルス感染者の無症状者・軽症者を受け入れ（2Qも継続、21年3月末まで契約済）
- ✓ 倉敷ロイヤルアートホテルは、Go To トラベルなどの施策もあり、9月より回復基調。



■海外

事業内容：インドネシアにおける広告代理店事業、アジア圏を中心とした投資事業等

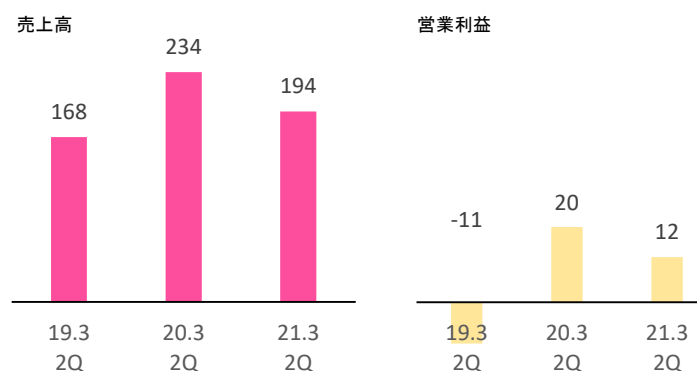
- ✓ 広告代理店事業では、新型コロナウイルス感染症の影響あり、売上が減少、原価及び販管費の抑制により利益は改善
- ✓ 投資事業では、業務提携・出資などの成果あり



■その他

事業内容：車載端末システムの開発・販売、M&Aに関するコンサルティング業務、国内における投資など

- ✓ モバイルリンク・増田製麺において、新型コロナウイルス感染症の影響から受注が減少した結果、売上・利益ともに減少
- ✓ ㈱みらい知的財産技術研究所、㈱アマガサはセグメント利益外で損益（2Q累計：持分法投資損失24.4百万円）を取り込み



グループ会社紹介



Director
Nelaka Haturusinha

ストライダーズ グローバル インベストメントは、シンガポールを拠点に、インドネシアやスリランカなど、アジア圏の企業への投資を実行しています。成長の可能性がある企業や事業を発掘し、その企業との資本・業務提携、事業へのファンディング支援やプロジェクトへの投資など、多様かつ柔軟に対応することで、期間利益・企業価値の最大化を目指して参ります。



ニューストピックス

■インドジェン・キャピタルと業務提携契約を締結

当社は、2020年7月、東南アジア地域でのプレゼンス拡大のため、子会社であるStriders Global Investment Pte. Ltd.（シンガポール）を通じて、Indogen Capital インドジェン・キャピタル（本社：インドネシア・ジャカルタ）と業務提携契約を締結しました。本提携を通じ、インドネシアをはじめとする東南アジア地域で、成長性の高い分野への投資を積極的に推進してまいります。



■東南アジア最大のeスポーツ企業に出資

当社は、2020年9月に海外子会社 Striders Global Investment Pte. Ltd.（シンガポール）を通じて、東南アジア最大規模のeスポーツ企業であるAttention Holdings Pte. Ltd.（本社：シンガポール、以下「ATTN」）へ出資しました。

ATTNは、東南アジア最大のeスポーツチーム「EVOS」のオーナーで、シンガポールに本社をおき、インドネシア、タイ、ベトナム、マレーシアなどで事業展開しています。現在EVOSは、5カ国14チームにまたがる62人のeスポーツアスリートを擁し、YouTube、InstagramなどのSNSフォロワー数が500万人を超えており、世界で6番目、東南アジア地域では最も影響力のあるeスポーツブランドに成長しました。

日本のeスポーツ産業も急速に発展することが予想される中、今回の投資をきっかけに、EVOSの日本への進出を目指すとともに、今後ともインドネシアでのVC投資を加速させてまいります。

